

52の宝物がある。

道民参加によって選ばれた『北海道遺産』。

そのキーワードは「次の世代に引き継ぎたい北海道の大切な宝物」だ。

なかば埋もれ、忘れかけ、当たり前前になっていたコトやモノに

光があてられ、関心が寄せられてきたかのようにとられることもある。

しかし、選ばれた宝物たちは、少し違う。

それらは地域の人々と常にとともにあり、時代が移ろうとも

大切に守られ、愛され、誇りとして存在していた。

北海道遺産の選定は、その確認作業であり、

次世代への継承を絶えさせない、未来への約束でもある。

また、この大地にあるであろう無数の宝物たちの象徴でもある。

人が創造したもの、継承してきたもの、あるいは人の叡智の及ばないもの。

それらは、人々のところや行為を映す鏡ともいえる。

人は何を思い、何を見つめ、何を伝えようとしているのだろうか。

北海道各地に「北海道遺産びと」をたずねてみた。

